

島田市役所周辺整備基本構想検討委員会 第3回会議 議事概要

1 日時 平成30年3月26日（月） 午後7時～午後9時

2 場所 島田市役所本庁舎4階 第3委員会室

3 出席者

(1) 委員

海道委員長、森澤副委員長、荒井委員、石川（春）委員、石川（政）委員、伊藤委員、
杵塚委員、佐野委員、鈴木委員、高橋委員、中林委員
（13人中11人出席）

(2) 事務局

行政経営部財政課 鈴木課長、高木課長補佐 岩本係長 小柳津主事 福田書記

4 概要

(1) 開会

(2) 報告事項

次の3点について事務局から報告した。

- ①検討の前提条件について
- ②市役所周辺整備事業の財政への影響の度合いについて
- ③従来型の手法とPFI手法の経済的優位性の比較について

委員からの質問・意見は以下のとおり（○：質問・意見 →：事務局回答）

②市役所周辺整備事業の財政への影響の度合いについて

○資料1において、全国の統計値を使用しているため島田市に当てはめてイメージを持つのは難しいのではないかと。また、今後の人口の減少、市民の年齢構成、税金等が歳入にどれくらい影響するのもも並行して考えていくべきである。その点について、今後データ等出せる範囲で出していただきたい。市民はなるべく悪い方に想定したものを見たいのではないかと。思う。

→可能な限り、手持ちの材料を使ってご理解できるようなものを用意する。

○庁舎の建替えのための積立金はあるのか。

→資料1-1の積立金現在高を見てもらいたい。具体の計画の際に見込んでいくことになる。

○財政状況が悪い中で、さらに文化施設がほしいのかどうかという市や我々の本気度、本当に文化を育てたい、人材を育てたいという思いが大事であり、今後も数字と並行して考えていくべきである。

③従来型の手法とPFI手法の経済的優位性の比較について

○説明を受けたのは、本庁舎、文化施設、公民館の3つの施設を一体で整備した場合の想定

であるが、文化施設や公民館を段階的に整備するというケースでもPFI形式を適用することは可能なのか（庁舎単独整備にもPFI形式の適用は可能なのか）。

→資料として手元にあるのはこの3つの組み合わせだけである。庁舎単独の場合も可能であると思うが、専門的な計算もあるので事務局の方で直ちにそれを報告することは難しい。

○PFI形式にすると施設整備費を10%削減できるというのは、競争原理が働いて、同じものを作るにしても費用が10%削減できるというように考えてもよいのか。

→最近、土木の中では、民の単価も官の単価も変わらないと言われているが、建築の積算の中では、その違いを考慮して積算してこのような前提をたててもらったと理解している。

○市役所を建てる時に合併推進債を活かすという話があったと思うが、もしPFI形式を適用となった場合、合併推進債の扱いはどのようになるのか。

→PFIの場合、民間の特定目的会社が資金調達をする。そのため市の起債とは関わらない。PFIの民間負担部分を軽くするために行政が起債などで資金調達する方法もないことはないが、それをやるとPFIの事業規模が小さくなり、メリットも少なくなる。

(3) 協議事項

次の点について協議した。

①市民アンケートの実施内容について

委員からの質問・意見は以下のとおり（○：質問・意見 →：事務局回答）

○回収率はどの程度見込んでいるのか。

→2年前に公共施設に関するアンケートを行った際は46%であったので、そのあたりを一つの目標にしている。

○工夫の方法という点で、若い方の声をたくさん得るためにも電子媒体でのアンケート収集を検討してみたらどうか。

→若者の紙媒体での回答率を高めるのは難しいので、電子媒体等の他の手法も検討しないといけない一方、不特定多数を対象とすると賛成・反対のいずれかに偏りが生じてしまう可能性もある。仮に電子媒体利用を行う場合にも、3,000人を対象とした紙媒体のアンケートの基本は崩さず、電子媒体等の他の手法を使った場合は取扱いを別として扱うものになる。

○学校に対するアンケートで1クラスを抽出するやり方だと広く意見を収集できないのではないか。アンケートに答えてもらうだけでなく、この市役所周辺整備に対して自分の考えを持ってもらうという機会のためのアンケートという捉え方もすべきである。

→各学校1クラス抽出というやり方は市の総合計画策定のアンケート時に実施した。学校側の負担も考えて、全員に対しては厳しいが、また違う方法も検討してみる。

（委員）→現在の高校は1学年当たりの学級数が少なく、1学級でも十分ではないか。

○高校の場合、市外の生徒さんもいると思うが、その辺はどのように考えているか。

→市内外の仕分けは難しい。どこにお住まいかということを確認することになる。

○来場者調査では、プラザおおるりだけではなく、夢づくり会館、チャリムでも行うとよい

と思う。

○座席の少ないホールを建設した方がいいという意見もあり得るので、アンケート項目に入れてみるとよい。

○文化施設の必要性を感じている人にジャンル（例：オペラ、オーケストラ、合唱、邦楽、その他音楽、ミュージカル、演劇…）を選んでもらうようにするとよい。

○施設ありきの質問ではなく、どういうことに、どういう風に文化的公共スペースが欲しいという意見を収集できるとよいのではないか。

→質問5-4にある、文化施設での「鑑賞」「発表」への希望を第1の質問として、施設ありきの質問ではない設問形式を検討したい。

②文化施設の管理運営及び利用の実態と今後の方向性について

※時間の都合上、次回以降協議することとした。

(3) その他

次回開催日は4月23日（月）とすることで決定した。

(4) 閉会